

評定様式7

考 査 項 目 別 運 用 表

(検 査 員)

考查項目	細 別	a	b	c	d	e																																							
2 施工状況	1 施工管理 <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 30px; margin: 10px auto; text-align: center;">評価結果</div>	<p style="text-align: center;">施工管理が優れている</p>	<p style="text-align: center;">施工管理がやや優れている</p>	<p style="text-align: center;">他の評価に該当しない</p>	<p style="text-align: center;">施工管理がやや劣っている</p>	<p style="text-align: center;">施工管理が劣っている</p>																																							
<p>● 評価対象項目</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 70%;">1 契約約款第18条第1項第1号～5号に基づく設計図書の照査を行い、監督員の確認を受けて施工を行っていることが確認できる。</td> <td style="text-align: center;">評価</td> <td style="text-align: center;">該当</td> </tr> <tr> <td>2 施工計画書が工事着手前に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したものであることが確認できる。</td> <td style="text-align: center;">□</td> <td style="text-align: center;">□</td> </tr> <tr> <td>3 工事期間を通じて、施工計画書の記載内容と現場施工方法が一致していることが確認できる。</td> <td style="text-align: center;">□</td> <td style="text-align: center;">□</td> </tr> <tr> <td>4 現場条件又は計画内容に変更が生じた場合は、その都度当該工事着手前に変更施工計画書を提出していることが確認できる。</td> <td style="text-align: center;">□</td> <td style="text-align: center;">□</td> </tr> <tr> <td>5 工事材料の品質に影響がないよう工事材料を保管していることが確認できる。</td> <td style="text-align: center;">□</td> <td style="text-align: center;">□</td> </tr> <tr> <td>6 立会確認の手続きを事前に行っていることが確認できる。</td> <td style="text-align: center;">□</td> <td style="text-align: center;">□</td> </tr> <tr> <td>7 建設副産物の再利用への取り組みを行っていることが確認できる。</td> <td style="text-align: center;">□</td> <td style="text-align: center;">□</td> </tr> <tr> <td>8 施工体制台帳及び施工体系図を法令等に沿った内容で的確に整備していることが確認できる。</td> <td style="text-align: center;">□</td> <td style="text-align: center;">□</td> </tr> <tr> <td>9 下請に対する引き取り（完成）検査を書面で実施していることが確認できる。</td> <td style="text-align: center;">□</td> <td style="text-align: center;">□</td> </tr> <tr> <td>10 品質証明体制が確立され、品質証明員による関係書類、出来形、品質等の確認を工事全般にわたって行っていることが確認できる。</td> <td style="text-align: center;">□</td> <td style="text-align: center;">□</td> </tr> <tr> <td>11 工事の関係書類を不足なく簡潔に整理していることが確認できる。</td> <td style="text-align: center;">□</td> <td style="text-align: center;">□</td> </tr> <tr> <td>12 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。</td> <td style="text-align: center;">□</td> <td style="text-align: center;">□</td> </tr> <tr> <td>13 その他 [理由 :</td> <td style="text-align: center;">□</td> <td style="text-align: center;">□</td> </tr> </table>							1 契約約款第18条第1項第1号～5号に基づく設計図書の照査を行い、監督員の確認を受けて施工を行っていることが確認できる。	評価	該当	2 施工計画書が工事着手前に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したものであることが確認できる。	□	□	3 工事期間を通じて、施工計画書の記載内容と現場施工方法が一致していることが確認できる。	□	□	4 現場条件又は計画内容に変更が生じた場合は、その都度当該工事着手前に変更施工計画書を提出していることが確認できる。	□	□	5 工事材料の品質に影響がないよう工事材料を保管していることが確認できる。	□	□	6 立会確認の手続きを事前に行っていることが確認できる。	□	□	7 建設副産物の再利用への取り組みを行っていることが確認できる。	□	□	8 施工体制台帳及び施工体系図を法令等に沿った内容で的確に整備していることが確認できる。	□	□	9 下請に対する引き取り（完成）検査を書面で実施していることが確認できる。	□	□	10 品質証明体制が確立され、品質証明員による関係書類、出来形、品質等の確認を工事全般にわたって行っていることが確認できる。	□	□	11 工事の関係書類を不足なく簡潔に整理していることが確認できる。	□	□	12 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。	□	□	13 その他 [理由 :	□	□
1 契約約款第18条第1項第1号～5号に基づく設計図書の照査を行い、監督員の確認を受けて施工を行っていることが確認できる。	評価	該当																																											
2 施工計画書が工事着手前に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したものであることが確認できる。	□	□																																											
3 工事期間を通じて、施工計画書の記載内容と現場施工方法が一致していることが確認できる。	□	□																																											
4 現場条件又は計画内容に変更が生じた場合は、その都度当該工事着手前に変更施工計画書を提出していることが確認できる。	□	□																																											
5 工事材料の品質に影響がないよう工事材料を保管していることが確認できる。	□	□																																											
6 立会確認の手続きを事前に行っていることが確認できる。	□	□																																											
7 建設副産物の再利用への取り組みを行っていることが確認できる。	□	□																																											
8 施工体制台帳及び施工体系図を法令等に沿った内容で的確に整備していることが確認できる。	□	□																																											
9 下請に対する引き取り（完成）検査を書面で実施していることが確認できる。	□	□																																											
10 品質証明体制が確立され、品質証明員による関係書類、出来形、品質等の確認を工事全般にわたって行っていることが確認できる。	□	□																																											
11 工事の関係書類を不足なく簡潔に整理していることが確認できる。	□	□																																											
12 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。	□	□																																											
13 その他 [理由 :	□	□																																											
<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>● 判断基準</td> <td></td> </tr> <tr> <td>評価値が90%以上.....</td> <td>a</td> </tr> <tr> <td>評価値が80%以上90%未満.....</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>評価値が80%未満.....</td> <td>c</td> </tr> </table> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象とする項目のみ選択する。</p> <p>② 評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値（ %）＝該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100</p> <p>④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p> </div>							● 判断基準		評価値が90%以上.....	a	評価値が80%以上90%未満.....	b	評価値が80%未満.....	c																															
● 判断基準																																													
評価値が90%以上.....	a																																												
評価値が80%以上90%未満.....	b																																												
評価値が80%未満.....	c																																												

考査項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e
3 出来形 及び出来ばえ	<input type="checkbox"/> 共通	出来形管理が優れている	出来形管理がbより優れている	出来形管理がやや優れている	出来形管理がcより優れている	他の評価に該当しない	出来形管理がやや劣っている	出来形管理が劣っている
I 出来形	評価結果 <input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/>	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内で、下記の「評価対象項目」の4項目以上が該当する。	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内で、下記の「評価対象項目」の3項目以上が該当する。	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内で、下記の「評価対象項目」の3項目以上が該当する。	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内で、下記の「評価対象項目」の2項目以上が該当する。	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a~bcに該当しない。	出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。	出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
		● 評価対象項目 1 出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図及び出来形管理表を工夫していることが確認できる。 2 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 3 不可視部分の出来形が写真で確認できる。 4 写真管理基準の管理項目を満足している。 5 出来形管理基準が定められていない工種について、監督員と協議の上で管理していることが確認できる。 6 その他 <input type="text"/> 理由： <input type="text"/>						該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> ① 出来形の評価は、工事全般を通じて評価するものである。 ② 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状及び寸法をいう。 ③ 出来形管理とは、「施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づき所定の出来形を確保する管理体系である。 ④ 出来形管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。 </div> ※ばらつきの判断は別紙ー4参照。						

評定様式7

考 査 項 目 別 運 用 表

(検 査 員)

考査項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e		
3 出来形及び出来ばえ	機械設備工事	出来形管理が優れている	出来形管理がbより優れている	出来形管理がやや優れている	出来形管理がcより優れている	他の評価に該当しない	出来形管理がやや劣っている	出来形管理が劣っている		
I 出来形	※ 上記欄によらず、当該欄で評価 評価結果 <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 20px; margin: 5px auto;"></div>	● 評価対象項目 1 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図などを工夫していることが確認できる。 2 設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内であり、出来形の確認ができる。 3 施工管理基準の撮影記録が撮影基準を満足し、出来形の確認ができる。 4 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督員と協議の上で管理していることが確認できる。 5 不可視部分の出来形が写真で確認できる。 6 塗装管理基準の塗膜厚管理が適切にまとめられており、出来形の確認ができる。 7 溶接管理基準の出来形管理が適切にまとめられており、出来形の確認ができる。 8 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 9 設計図書に定められている予備品に不足が無いことが確認できる。 10 分解整備における既設部品等の摩耗、損傷等について、整備前と整備後の老化状況及び回復状況が図表等に記録していることが確認できる。 11 製品の性能、機能において、実測値が設計値以上となり、満足していることが確認できる。 12 その他 [理由：]					評価 該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	「 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	「 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。	
		● 判断基準 評価値が90%以上・・・・・・・・ a 評価値が80%以上90%未満・・・・ ab 評価値が70%以上80%未満・・・・ b 評価値が60%以上70%未満・・・・ bc 評価値が60%未満・・・・・・・・ c		① 当該「評価対象項目」のうち、対象とする項目のみ選択する。 ② 評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ % ）＝ 該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100 ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。						

考查項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e					
3 出来形及び出来ばえ I 出来形	電気設備工事 通信設備工事受 変電設備工事 ※ 上記欄によらず、当該欄で評価 評価結果 <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div>	出来形管理が優れている	出来形管理がbより優れている	出来形管理がやや優れている	出来形管理がcより優れている	他の評価に該当しない	出来形管理がやや劣っている	出来形管理が劣っている					
		● 評価対象項目 1 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図及び出来形管理表を工夫していることが確認できる。 2 機器等の測定（試験）結果が、その都度管理図表などに記録され、適切に管理していることが確認できる。 3 施工管理基準の撮影記録が撮影基準を満足し、出来形の確認ができる。 4 不可視部分の出来形が写真で確認できる。 5 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督員と協議の上で管理していることが確認できる。 6 設備全般にわたり、形状、寸法の実測値が許容範囲内であることが確認できる。 7 設備の据付、固定方法を、設計図書又は承諾図書のとおり施工していることが確認できる。 8 配管及び配線を設計図書又は承諾図書通り敷設していることが確認できる。 9 行先などを表示した名札を、ケーブルなどに分かり易く堅固に取り付けていることが確認できる。 10 配管及び配線の支持間隔や絶縁抵抗等について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 11 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 12 製品の性能、機能において、実測値が設計値以上となっており、満足していることが確認できる。 13 その他				理由：		評価 該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。		出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。	
		● 判断基準 評価値が90%以上 a 評価値が80%以上90%未満 ab 評価値が70%以上80%未満 b 評価値が60%以上70%未満 bc 評価値が60%未満 c				<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> ① 当該「評価対象項目」のうち、対象とする項目のみ選択する。 ② 評価項目数を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ ％）＝該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100 ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。 </div>							

評定様式7

考 査 項 目 別 運 用 表

(検 査 員)

考査項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e																																
3 出来形及び出来ばえ	コンクリート構造物工事	品質管理が優れている	品質管理がbより優れている	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れている	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣っている	品質管理が劣っている																																
II 品質	評価結果 <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 20px; margin: 5px 0;"></div>	<p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。<判断基準参照> 「関連基準、施工管理基準、その他設計図書に定められた試験」 ※品質管理項目を設定していない工事については、「ばらつきで判断不可能」を選択する。 ※ばらつきの判断は別紙－4参照。</p> <p>● 評価対象項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生コンは適切な配合設計及び品質管理等が出来る生コン工場で生産された製品であることが確認できる。 2 コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度、w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応制御等）が確認できる。 3 コンクリート受入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 4 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 5 コンクリート一層の打設厚さは50cm以下で均等圧に連続して打設されていることが確認できる。 6 運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレーターの種類及び養生方法が、施工条件および気象条件に適しており、定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む） 7 コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 8 コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適正に行っていることが確認できる。 9 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。 10 コンクリート打設までに、さび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 11 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 12 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 13 コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 14 スパーサーの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 15 有害なクラックが無い。（有害なクラックとは、進行性があり、放置すると構造物本体の耐久性の低下や劣化を招くおそれがあるクラックのことをいう） 16 その他 [理由：] 				ばらつき50%以下 ばらつき80%以下 ばらつき80%を越える ばらつきで判断不可能	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																																
					<table border="1" style="border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">評価</td> <td style="padding: 2px;">該当</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> </table>	評価	該当	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
評価	該当																																							
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																							
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																							
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																							
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																							
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																							
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																							
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																							
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																							
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																							
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																							
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																							
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																							
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																							
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																							
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																							
		<p>● 判断基準</p> <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> <tr> <th rowspan="4">評価値</th> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>bc</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </table>					ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能			50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	ab	b	b	75%以上90%未満	ab	b	bc	bc	60%以上75%未満	b	bc	c	c	60%未満	bc	c	c	c	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象とする項目のみを選択する。 ② 評価項目数を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（<input type="text"/>％）＝該当項目数（<input type="text"/>）/ 評価対象項目数（<input type="text"/>）× 100 ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>			
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																			
		50%以下	80%以下	80%を超える																																				
評価値	90%以上	a	ab	b	b																																			
	75%以上90%未満	ab	b	bc	bc																																			
	60%以上75%未満	b	bc	c	c																																			
	60%未満	bc	c	c	c																																			
<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。</p>																																								

評定様式7

考 査 項 目 別 運 用 表

(検 査 員)

考査項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e																																																																																																																																																																																									
3 出来形及び出来ばえ	土工事（切土、盛土、堤防等工事）	品質管理が優れている	品質管理がbより優れている	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れている	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣っている	品質管理が劣っている																																																																																																																																																																																									
II 品質	評価結果 <div style="border: 2px solid black; width: 30px; height: 20px; display: inline-block;"></div>	<p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞</p> <p>「関連基準、施工管理基準、その他設計図書に定められた試験」</p> <p>※品質管理項目を設定していない工事については、「ばらつきで判断不可能」を選択する。</p> <p>※ばらつきの判断は別紙-4参照。</p>				ばらつき50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能 <input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																																																																																																																																																																																									
		<p>● 評価対象項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 2 段切りを設計図書に基づき行っていることが確認できる。 3 置換えのための掘削を行うに当たり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 4 締固めが設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 5 1層当たりのまき出し厚を管理していることが確認できる。 6 芝付け及び種子吹付を設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 7 構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 8 土羽部の土質が設計図書を満足していることが確認できる。 9 CBR試験などの品質管理に必要な試験を行っていることが確認できる。 10 法面に有害な亀裂がない。 11 伐開除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 12 掘削（切土）部法面の浮き石・木根等が適切に除去されていることが確認できる。 13 その他 { 理由：} 				評価 該当 <table style="border-collapse: collapse;"> <tr><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td></tr> <tr><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td></tr> <tr><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td></tr> <tr><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td></tr> <tr><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td></tr> <tr><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td></tr> <tr><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td></tr> <tr><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td></tr> <tr><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td></tr> <tr><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td></tr> <tr><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td></tr> <tr><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td></tr> <tr><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td></tr> <tr><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td></tr> <tr><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td></tr> <tr><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td></tr> <tr><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td></tr> <tr><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td></tr> <tr><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td></tr> <tr><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td></tr> <tr><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td></tr> <tr><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td></tr> <tr><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td><td style="border: none;"></td></tr> </table>																																																																																																																																																																																									<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;"></td> </tr> </table>		
		<p>● 判断基準</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>bc</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>					ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	ab	b	b	75%以上90%未満	ab	b	bc	bc	60%以上75%未満	b	bc	c	c	60%未満	bc	c	c	c	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>① 当該「評価対象項目」のうち、対象とする項目のみ選択する。</td> </tr> <tr> <td>② 評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。</td> </tr> <tr> <td>③ 評価値（ %）＝該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100</td> </tr> <tr> <td>④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</td> </tr> </table>			① 当該「評価対象項目」のうち、対象とする項目のみ選択する。	② 評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。	③ 評価値（ %）＝該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100	④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																																																																																																																																																									
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																																																																																																																																																																													
	50%以下	80%以下	80%を超える																																																																																																																																																																																														
90%以上	a	ab	b	b																																																																																																																																																																																													
75%以上90%未満	ab	b	bc	bc																																																																																																																																																																																													
60%以上75%未満	b	bc	c	c																																																																																																																																																																																													
60%未満	bc	c	c	c																																																																																																																																																																																													
① 当該「評価対象項目」のうち、対象とする項目のみ選択する。																																																																																																																																																																																																	
② 評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。																																																																																																																																																																																																	
③ 評価値（ %）＝該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100																																																																																																																																																																																																	
④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																																																																																																																																																																																																	
		<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。</p>																																																																																																																																																																																															

評定様式7

考 査 項 目 別 運 用 表

(検 査 員)

考査項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e	
3 出来形及び出来ばえ	舗装工事	品質管理が優れている	品質管理がbより優れている	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れている	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣っている	品質管理が劣っている	
		品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 「関連基準、施工管理基準、その他設計図書に定められた試験」 ※品質管理項目を設定していない工事については、「ばらつきで判断不可能」を選択する。 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。					ばらつき50%以下 ばらつき80%以下 ばらつき80%を超える ばらつきで判断不可能	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
II 品質	評価結果	<p>● 評価対象項目</p> <p>【路床・路盤工関係】</p> <p>1 設計図書に定められた試験方法でCBR値を測定していることが確認できる。</p> <p>2 路床工及び路盤工のブルーフローリング試験を行っていることが確認できる。</p> <p>3 路床工及び路盤工の密度管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>4 路盤の安定処理は材料が均一になるよう施工していることが確認できる。</p> <p>5 路盤の施工に先立って、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去してから施工していることが確認できる。</p> <p>6 路床盛土において、1層の仕上がり厚を20cm以下とし、各層ごとに締固めて施工していることが確認できる。</p> <p>7 路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めを、タンバ等の小型締固め機械により施工していることが確認できる。</p> <p>8 その他 理由：</p> <p>【アスファルト舗装工関係】</p> <p>9 適切な配合設計及び品質管理等が出来るアスファルトプラントで生産された製品であることが確認できる。</p> <p>10 アスファルト混合物の品質が、配合設計及び試験練りの結果又は事前審査制度の証明書類により確認できる。</p> <p>11 舗装工の施工にあたって、上層路盤面の浮き石などの有害物を除去していることが確認できる。</p> <p>12 プラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。</p> <p>13 舗装後の交通解放が、定められた条件を満足していることが確認できる。</p> <p>14 各層の継ぎ目の位置が、設計図書に定められた数値以上であることが確認できる。</p> <p>15 縦継目及び横継目の位置、構造物との接合面の処理等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>16 アスファルト混合物の運搬及び舗設にあたって、気象条件を配慮していることが確認できる。</p> <p>17 密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>18 その他 理由：</p> <p>【次項あり】</p>					評価 該当		

考 査 項 目 別 運 用 表

(検 査 員)

考査項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e																													
3 出来形及び出来ばえ II 品質	舗装工事【つづき】	品質管理が優れている	品質管理がbより優れている	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れている	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣っている	品質管理が劣っている																													
		<p>● 評価対象項目</p> <p>【コンクリート舗装工関係】</p> <p>19 生コンは適切な配合設計及び品質管理等が出来る生コン工場で生産された製品であることが確認できる。</p> <p>20 コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度、w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応制御等）が確認できる。</p> <p>21 舗装工の施工に先立って、上層路盤面の浮き石等の有害物を除去してから施工していることが確認できる。</p> <p>22 コンクリート受入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。</p> <p>23 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p>24 運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のパイプレーターの種類及び養生方法が、施工条件および気象条件に適しており、定められた条件を満足していることが確認できる。</p> <p>25 材料が分離しないようコンクリートを敷均していることが確認できる。</p> <p>26 チェアー及びタイバーを損傷などが発生しないように保管していることが確認できる。</p> <p>27 鉄筋はコンクリートの中央位置へ配置していることが確認できる。</p> <p>28 その他 [理由:]</p>						評価 該当																													
		<p>● 判断基準</p> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価値 90%以上</td> <td>a</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>bc</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象とする項目のみ選択する。</p> <p>② 評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値（ % ）= 該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100</p> <p>④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合にはC評価とする。</p> </div>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値 90%以上	a	ab	b	b	75%以上90%未満	ab	b	bc	bc	60%以上75%未満	b	bc	c	c	60%未満	bc	c	c	c		
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
評価値 90%以上	a	ab	b	b																																	
75%以上90%未満	ab	b	bc	bc																																	
60%以上75%未満	b	bc	c	c																																	
60%未満	bc	c	c	c																																	
<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。</p>																																					

考査項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e	
3 出来形及び出来ばえ	法面工事	品質管理が優れている	品質管理がbより優れている	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れている	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣っている	品質管理が劣っている	
II 品質	評価結果 <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 20px; margin: 5px;"></div>	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 「関連基準、施工管理基準、その他設計図書に定められた試験」 ※品質管理項目を設定していない工事については、「ばらつきで判断不可能」を選択する。 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。				ばらつき50%以下 ばらつき80%以下 ばらつき80%を超える ばらつきで判断不可能	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。	
		● 評価対象項目 【共 通】 1 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 3 施工に際して、品質に害となる施工面の浮き石等やごみ等を除去してから施工していることが確認できる。 4 盛土の施工あたり、法面の崩壊が起こらないよう締固めを十分行っていることが確認できる。 5 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 6 使用材料（肥料・種子・セメント等）の使用量（空袋数等）が確認できる。 7 その他 理由：					評価 該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
		【種子吹付工、客土吹付工、植生基材、吹付工関係】 8 土壌試験の結果を施工に反映していることが確認できる。 9 ネットなどの境界に隙間が生じていないことが確認できる。 10 ネットなどが破損を生じていないことが確認できる。 11 吹付厚さが均等であることが確認できる。 12 使用する材料の種類、品質、配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 13 施工時期が定められた条件を満足していることが確認できる。 14 その他 理由：					<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
		【コンクリート又はモルタル吹付工関係】 15 使用する材料の種類、品質、配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 16 金属の重ね幅が、10cm以上確保されていることが確認できる。 17 金属が破損を生じていないことが確認できる。 18 吸水性の吹付面において、事前に吸水させてから施工していることが確認できる。 19 吹付厚さが均等であることが確認できる。 20 吹付厚さに応じて2層以上に分割して施工していることが確認できる。 21 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 22 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。 23 法肩の吹付にあたり、地山に沿って巻き込んで施工していることが確認できる。 24 ネット（金網等）の留めアンカーの打ち込みは十分で固定されている。 25 その他 理由：					<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
		【次項あり】							

考查項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e																														
3 出来形 及び出来ばえ	法面工事 【つづき】	品質管理が優れている	品質管理がbより優れている	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れている	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣っている	品質管理が劣っている																														
II 品質		<p>● 評価対象項目</p> <p>【現場打ち法枠工関係（プレキャスト法枠工を含む）】</p> <p>26 使用する材料の種類、品質、配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>27 アンカーを設計図書どおりの長さで施工していることが確認できる。</p> <p>28 現場養生が、設計図書の仕様を満足するように実施されていることが確認できる。</p> <p>29 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p>30 枠内に空隙がないことが確認できる。</p> <p>31 層間にはく離が無いことが確認できる。</p> <p>32 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。</p> <p>33 その他 〔理由：</p> <p>【ポケット式落石防止工関係】</p> <p>34 ルーフアンカー打ち込みカ所の表土は取り除かれ、岩盤が露出していることが確認できる。</p> <p>35 岩盤への削孔深が設計値以上であることが確認できる。</p> <p>36 孔内に挿入したルーフアンカーの打ち込み状況及び固定されていることが確認できる。</p> <p>37 注入材（セメントミルク）の充填状況が確認できる。</p> <p>38 金網の重ね幅が、10cm以上確保されていることが確認できる。</p> <p>39 その他 〔理由：</p>						評価 該当																														
		<p>● 判断基準</p> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>bc</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象とする項目のみ選択する。</p> <p>② 評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値（ %）＝当該項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100</p> <p>④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p> </div>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	ab	b	b	75%以上90%未満	ab	b	bc	bc	60%以上75%未満	b	bc	c	c	60%未満	bc	c	c	c			
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																		
	50%以下	80%以下	80%を超える																																			
90%以上	a	ab	b	b																																		
75%以上90%未満	ab	b	bc	bc																																		
60%以上75%未満	b	bc	c	c																																		
60%未満	bc	c	c	c																																		
		<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。</p>																																				

評定様式7

考 査 項 目 別 運 用 表

(検 査 員)

3 出来形及び出来ばえ II 品質	基礎工事及び地盤改良工事 評価結果	a	ab	b	bc	c	d	e																											
		品質管理が優れている	品質管理がbより優れている	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れている	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣っている	品質管理が劣っている																											
		品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 「関連基準、施工管理基準、その他設計図書に定められた試験」 ※品質管理項目を設定していない工事については、「ばらつきで判断不可能」を選択する。 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。				ばらつき50%以下 ばらつき80%以下 ばらつき80%を越える ばらつきで判断不可能	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																											
		<p>● 評価対象項目</p> <p>【杭関係（コンクリート・鋼管・鋼管井筒、場所打、深礎等）</p> <p>1 杭に損傷及び補修痕がないことが確認できる。 2 既成杭の打止め管理の方法及び場所打杭の施工管理の方法が整備されており、その記録を整理していることが確認できる。 3 杭頭処理において、杭本体を損傷していないことが確認できる。 4 水平度、鉛直度等が、設計図書を満足していることが確認できる。 5 溶接の品質管理に関して、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 6 支持地盤に達していることが、掘削深さ、掘削土砂等により確認できる。 7 場所打杭について、トレミー管をコンクリート内に2m以上挿入して施工していることが確認できる。 8 掘削深さ、排出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度並びに比重等が、設計図書を満足していることが確認できる。 9 鉄筋、スペーサーの配置及びコンクリート打設等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 10 ライナープレートの組み立てにあたり、偏芯と歪に配慮して施工していることが確認できる。 11 裏込注入材の圧力などが施工記録により確認できる。 12 強度確認、セメントミルクの比重管理などの品質に係わる事項の管理資料を整理していることが確認できる。 13 その他</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding-left: 5px;">理由：</div> <p>【地盤改良関係】</p> <p>14 施工地盤は不陸整正され、安定剤が路床土と均一に攪拌混合されていることが確認できる。 15 安定剤の散布及び混合時に粉塵等の対策が実施されている。 16 置き換え掘削深さ及び幅は設計図書とおり確保され、一層の敷均し厚は仕上がり厚20cm以下で十分に締め固められている。 17 サンドドレン・ペーバードレン工法では、材料の使用量が記録により確認できる。 18 改良材のバッチ管理記録が整理され、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 19 セメントミルクの比重、スラリー噴出量、強度等の管理資料を整理していることが確認できる。 20 事前に土質検査を実施し、改良材の選定、必要添加量の設定等を行っていることが確認できる。 21 施行箇所が均一に改良されているとともに、十分な強度及び支持力を確保していることが確認できる。 22 その他</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding-left: 5px;">理由：</div>				評価 該当																													
		<p>● 判断基準</p> <table border="1" style="float: left; margin-right: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>bc</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ① 当該「評価対象項目」のうち、対象とする項目のみ選択する。 ② 評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ %）＝該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100 ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。 </div>					ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	ab	b	b	75%以上90%未満	ab	b	bc	bc	60%以上75%未満	b	bc	c	c	60%未満	bc	c	c	c		
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																															
	50%以下	80%以下	80%を超える																																
90%以上	a	ab	b	b																															
75%以上90%未満	ab	b	bc	bc																															
60%以上75%未満	b	bc	c	c																															
60%未満	bc	c	c	c																															
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。																																	

考査項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e																												
3 出来形及び出来ばえ	塗装工事	品質管理が優れている	品質管理がbより優れている	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れている	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣っている	品質管理が劣っている																												
II 品質	評価結果 <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin: 5px;"></div>	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 「関連基準、施工管理基準、その他設計図書に定められた試験」 ※品質管理項目を設定していない工事については、「ばらつきで判断不可能」を選択する。 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。				ばらつき50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能 <input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																												
		● 評価対象項目 1 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 2 ケレンを入念に実施していることが確認できる。 3 天候状況の確認、気温及び湿度の測定を行い、塗装作業を行っていることが確認できる。 4 塗料を使用前に攪拌し容器の塗料を均一な状態にしてから使用していることが確認できる。 5 鋼材表面及び被塗装面の汚れ、油類等を除去し塗装を行っていることが確認できる。 6 塗料の空き缶管理について写真等で確実に空であることが確認できる。 7 塗り残し、ながれ、しわ等が無く塗装されていることが確認できる。 8 溶剤部、ボルトの接合部分、構造の複雑な部分について、必要な塗膜厚を確保していることが確認できる。 9 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 10 その他 { 理由： }				評価 該当 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 50%;"><input type="checkbox"/></td><td style="width: 50%;"><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> </table>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>										
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																			
		● 判断基準				<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>bc</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>				ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	ab	b	b	75%以上90%未満	ab	b	bc	bc	60%以上75%未満	b	bc	c	c	60%未満	bc	c	c	c
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	ab	b	b																																
75%以上90%未満	ab	b	bc	bc																																
60%以上75%未満	b	bc	c	c																																
60%未満	bc	c	c	c																																
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。				<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>① 当該「評価対象項目」のうち、対象とする項目のみ選択する。</td> </tr> <tr> <td>② 評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。</td> </tr> <tr> <td>③ 評価値（ %）＝該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100</td> </tr> <tr> <td>④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</td> </tr> </table>			① 当該「評価対象項目」のうち、対象とする項目のみ選択する。	② 評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。	③ 評価値（ %）＝該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100	④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																								
① 当該「評価対象項目」のうち、対象とする項目のみ選択する。																																				
② 評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。																																				
③ 評価値（ %）＝該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100																																				
④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																																				

考査項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e																																	
3 出来形及び出来ばえ	植栽工事	品質管理が優れている	品質管理がbより優れている	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れている	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣っている	品質管理が劣っている																																	
II 品質	評価結果 <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin: 5px;"></div>	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 「関連基準、施工管理基準、その他設計図書に定められた試験」 ※品質管理項目を設定していない工事については、「ばらつきで判断不可能」を選択する。 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。				ばらつき50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能 <input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																																	
		● 評価対象項目 1 活着が促されるよう管理していることが確認できる。 2 樹木などに損傷、はちくずれ等が無いよう保護養生を行っていることが確認できる。 3 樹木等の生育に害のある害虫等がないことが確認できる。 4 施工完了後、余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れを行っていることが確認できる。 5 肥料が直接樹木の根に触れないよう均一に施肥していることが確認できる。 6 植生する樹木に応じて、余裕のある植穴を掘り植穴底部を耕していることが確認できる。 7 添木をぐらつきが無いよう設置していることが確認できる。 8 樹名板を確認しやすい場所に据え付けていることが確認できる。 9 その他 <div style="display: inline-block; vertical-align: middle; margin-left: 10px;"> [理由 : <table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr> </table> </div>														評価 該当 <table style="border-collapse: collapse;"> <tr><td style="border: none; padding: 0 5px;">[</td><td style="border: none; padding: 0 5px;">[</td></tr> <tr><td style="border: none; padding: 0 5px;">[</td><td style="border: none; padding: 0 5px;">[</td></tr> <tr><td style="border: none; padding: 0 5px;">[</td><td style="border: none; padding: 0 5px;">[</td></tr> <tr><td style="border: none; padding: 0 5px;">[</td><td style="border: none; padding: 0 5px;">[</td></tr> <tr><td style="border: none; padding: 0 5px;">[</td><td style="border: none; padding: 0 5px;">[</td></tr> <tr><td style="border: none; padding: 0 5px;">[</td><td style="border: none; padding: 0 5px;">[</td></tr> <tr><td style="border: none; padding: 0 5px;">[</td><td style="border: none; padding: 0 5px;">[</td></tr> <tr><td style="border: none; padding: 0 5px;">[</td><td style="border: none; padding: 0 5px;">[</td></tr> <tr><td style="border: none; padding: 0 5px;">[</td><td style="border: none; padding: 0 5px;">[</td></tr> <tr><td style="border: none; padding: 0 5px;">[</td><td style="border: none; padding: 0 5px;">[</td></tr> <tr><td style="border: none; padding: 0 5px;">]</td><td style="border: none; padding: 0 5px;">]</td></tr> </table>	[[[[[[[[[[[[[[[[[[[[]]	<table border="1" style="border-collapse: collapse; width: 40px;"> <tr><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr> </table>		
[[
[[
[[
[[
[[
[[
[[
[[
[[
[[
]]																																								
		● 判断基準 <table border="1" style="border-collapse: collapse; width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>bc</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>					ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	ab	b	b	75%以上90%未満	ab	b	bc	bc	60%以上75%未満	b	bc	c	c	60%未満	bc	c	c	c	<table border="1" style="border-collapse: collapse;"> <tr> <td>① 当該「評価対象項目」のうち、対象とする項目のみ選択する。</td> </tr> <tr> <td>② 評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。</td> </tr> <tr> <td>③ 評価値（ %）＝該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100</td> </tr> <tr> <td>④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</td> </tr> </table>			① 当該「評価対象項目」のうち、対象とする項目のみ選択する。	② 評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。	③ 評価値（ %）＝該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100	④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。	
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																					
	50%以下	80%以下	80%を超える																																						
90%以上	a	ab	b	b																																					
75%以上90%未満	ab	b	bc	bc																																					
60%以上75%未満	b	bc	c	c																																					
60%未満	bc	c	c	c																																					
① 当該「評価対象項目」のうち、対象とする項目のみ選択する。																																									
② 評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。																																									
③ 評価値（ %）＝該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100																																									
④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																																									
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。																																							

考査項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e																												
3 出来形 及び出来ばえ	防護柵（網）・ 標識・区画線等 設置工事	品質管理が優れている	品質管理がbより優れてい る	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れてい る	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣って いる	品質管理が劣っている																												
II 品質	評価結果 <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 30px; margin: 5px;"></div>	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 「関連基準、施工管理基準、その他設計図書に定められた試験」 ※品質管理項目を設定していない工事については、「ばらつきで判断不可能」を選択する。 ※ばらつきの判断は別紙－4参照。				ばらつき50%以下 ばらつき80%以下 ばらつき80%を超える ばらつきで判断不可能	品質関係の測定方法 又は測定値が不適切 であったため、監督 員が文書で改善指示 を行った。	品質関係の測定方法 又は測定値が不適切 であったため、検査 員が修補指示を行っ た。																												
		<p>● 評価対象項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 防護柵設置要綱、視線誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認できる。 防護柵等の床掘の仕上がり面において、地山の乱れや不陸が生じないよう施工していることが確認できる。 防護柵等の基礎工の施工にあたって、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認できる。 防護柵等の支柱の施工にあたって、既設舗装面へ影響が無いよう施工していることが確認できる。 基礎設置箇所について地盤の地耐力を把握して、施工していることが確認できる。 防護柵の支柱の値入長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ガードケーブルを支柱に取り付ける場合、設計図書に定められた所定の張力を与えているのが確認できる。 ガードケーブルの端末支柱を土中に設置する場合、打設したコンクリートが設計図書の定められた強度以上であることが確認できる。 ペイント式（常温式）区画線に使用するシンナーの使用料が、10%以下であることが確認できる。 区画線の厚さが見本等で設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 区画線施工後昼間及び夜間の視認性が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 区画線の施工にあたって設置路面の水分、泥、砂塵及びほこりを取り除いて行っていることが確認できる。 区画線を消去の場合、表示材（塗料）のみの除去となっており、路面への影響が最小限となっていることが確認できる。 プライマーの施工にあたって、路面に均等に塗布していることが確認できる。 区画線の材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 その他〔理由：〕 				評価 該当																														
		<p>● 判断基準</p> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで 判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>bc</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>					ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	ab	b	b	75%以上90%未満	ab	b	bc	bc	60%以上75%未満	b	bc	c	c	60%未満	bc	c	c	c	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象とする項目のみ選択する。 ② 評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ %）＝該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100 ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>		
	ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	ab	b	b																																
75%以上90%未満	ab	b	bc	bc																																
60%以上75%未満	b	bc	c	c																																
60%未満	bc	c	c	c																																
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。																																		

考査項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e																												
3 出来形及び出来ばえ	上水道管布設工事	品質管理が優れている	品質管理がbより優れている	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れている	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣っている	品質管理が劣っている																												
II 品質	評価結果 <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 30px; display: inline-block;"></div>	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 「関連基準、施工管理基準、その他設計図書に定められた試験」 ※品質管理項目を設定していない工事については、「ばらつきで判断不可能」を選択する。 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。					ばらつき50%以下 ばらつき80%以下 ばらつき80%を超える ばらつきで判断不可能	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																											
		● 評価対象項目 【共通】 1 使用材料の品質が写真及び品質証明等で確認できる。 2 掘削（幅、深さ）及び仮設工（水替、土留め工等）が適切に行われており、周辺地盤への影響が見られないことが確認できる。 3 管設置において、管の通り等が良好であり、明示・管防護や防食対策等において適正であることが確認できる。 4 管及び弁栓類の接合・据付において、施工管理基準等に沿って行われていることが確認できる。 5 埋戻しにおいて、設計図書の仕様を満足し適正に施工していることが確認できる。 6 舗装の復旧等が適時行われ、路面の沈下や不陸が無く平坦性を確保していることが確認できる。 7 品質に関する各種の試験において、資料が整備され、指定の基準を満足していることが確認できる。 8 品質管理写真は適正な作業手順に基づいて撮影され、指定の撮影項目を満足していることが確認できる。 9 竣工図等の表記が現地や写真と一致している。 10 X線による検査を行った場合、異常がないことが確認できる。 11 その他〔理由：					評価 該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>																													
		【推進工事】 12 管推進に伴う周辺地盤への影響が見られないことが確認できる。 13 立坑の復旧が適切に行われ、路面の沈下、不陸が見られないことが確認できる。 14 薬液注入に伴う管理が適切で、観測井も適切に復旧されていることが確認できる。 15 裏込め注入等の場合、注入圧、注入量などの管理が適切に行われていることが確認できる。 16 推進法線上の地盤沈下について、沈下量の管理を行い、最小限の沈下にとどめていることが確認できる。 17 推進推力について、管理を行い、予定以上の負荷をかけていないことが確認できる。 18 その他〔理由：					評価 該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>																													
		● 判断基準					① 当該「評価対象項目」のうち、対象とする項目のみ選択する。 ② 評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ ）＝該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100 ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																													
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th rowspan="2">90%以上</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>bc</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>	評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	ab	b	b	75%以上90%未満	ab	b	bc	bc	60%以上75%未満	b	bc	c	c	60%未満	bc	c	c	c					
評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																															
		50%以下	80%以下	80%を超える																																
90%以上	a	ab	b	b																																
75%以上90%未満	ab	b	bc	bc																																
60%以上75%未満	b	bc	c	c																																
60%未満	bc	c	c	c																																
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。																																		

考査項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e																												
3 出来形及び出来ばえ	建築工事	品質管理が優れている	品質管理がbより優れている	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れている	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣っている	品質管理が劣っている																												
II 品質	評価結果 <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin: 5px;"></div>	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 「関連基準、施工管理基準、その他設計図書に定められた試験」 ※品質管理項目を設定していない工事については、「ばらつきで判断不可能」を選択する。 ※ばらつきの判断は別紙－4参照。				ばらつき50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能 <input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																												
		● 評価対象項目 <ol style="list-style-type: none"> 1 材料の品質及び形状が設計図書等との適切性確認ができ、証明書が整備なされていることが確認できる。 2 部品の品質及び形状が設計図書等との適切性確認ができ、証明書が整備なされていることが確認できる。 3 機器等（設備等）の機能が設計図書等との適切性確認ができ、証明書が整備なされていることが確認できる。 4 室内の塵芥処理等が適切に行われ、納まりの事前検討も十分実施され、良質な施工が伺えることが確認できる。 5 その他〔理由： 				評価 該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>																														
		● 判断基準				① 当該「評価対象項目」のうち、対象とする項目のみ選択する。 ② 評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ %）＝該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100 ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																														
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>bc</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>				評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	ab	b	b	75%以上90%未満	ab	b	bc	bc	60%以上75%未満	b	bc	c	c	60%未満	bc	c	c	c	注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。		
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	ab	b	b																																
75%以上90%未満	ab	b	bc	bc																																
60%以上75%未満	b	bc	c	c																																
60%未満	bc	c	c	c																																

評定様式7

考 査 項 目 別 運 用 表

(検 査 員)

考査項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e	
3 出来形 及び出来ばえ II 品質	維持工事（清掃 工，除草工，附 属物工，除雪， 応急処理等）	品質管理が優れている	品質管理がbより優れてい る	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れてい る	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣って いる	品質管理が劣っている	
	評価結果 <input type="text"/>	<p>● 評価対象項目</p> <p>1 使用する材料の品質・形状等が適切であり，かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。</p> <p>2 構造物の劣化状況をよく把握して，適切な対策を施していることが確認できる。</p> <p>3 監督員の指示事項に対して，現地状況を勘案し，施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。</p> <p>4 緊急的な作業において，迅速かつ適切に対応していることが確認できる。</p> <p>5 その他〔理由：〕</p> <p>6 その他〔理由：〕</p> <p>7 その他〔理由：〕</p> <p>8 その他〔理由：〕</p> <p>● 判断基準</p> <p>該当6項目以上・・・・ a</p> <p>該当5項目・・・・ ab</p> <p>該当4項目・・・・ b</p> <p>該当3項目・・・・ bc</p> <p>該当2項目以下・・・・ c</p> <p>注 記載の4項目を必須の評価対象項目とし，この他に適宜項目を追加して評価するものとする。 ただし，評価対象項目は最大8項目とする。</p>					<p>該当</p> <p>┌</p> <p>├</p> <p>├</p> <p>├</p> <p>├</p> <p>├</p> <p>├</p> <p>├</p> <p>├</p> <p>├</p> <p>└</p>	<p>品質関係の測定方法 又は測定値が不適切 であったため，監督 員が文書で改善指示 を行った。</p>	<p>品質関係の測定方法 又は測定値が不適切 であったため，検査 員が修補指示を行っ た。</p>
	修繕工事（橋脚 補修，耐震補 強，落橋防止 等）	品質管理が優れている	品質管理がbより優れてい る	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れてい る	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣って いる	品質管理が劣っている	
	評価結果 <input type="text"/>	<p>● 評価対象項目</p> <p>1 使用する材料の品質・形状等が適切であり，かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。</p> <p>2 構造物の劣化状況をよく把握して，適切な対策を施していることが確認できる。</p> <p>3 監督員の指示事項に対して，現地状況を勘案し，施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。</p> <p>4 施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘案した提案等を行っていることが確認できる。</p> <p>5 その他〔理由：〕</p> <p>6 その他〔理由：〕</p> <p>7 その他〔理由：〕</p> <p>8 その他〔理由：〕</p> <p>● 判断基準</p> <p>該当6項目以上・・・・ a</p> <p>該当5項目・・・・ ab</p> <p>該当4項目・・・・ b</p> <p>該当3項目・・・・ bc</p> <p>該当2項目以下・・・・ c</p> <p>注 記載の4項目を必須の評価対象項目とし，この他に適宜項目を追加して評価するものとする。 ただし，評価対象項目は最大8項目とする。</p>					<p>該当</p> <p>┌</p> <p>├</p> <p>├</p> <p>├</p> <p>├</p> <p>├</p> <p>├</p> <p>├</p> <p>├</p> <p>└</p>	<p>品質関係の測定方法 又は測定値が不適切 であったため，監督 員が文書で改善指示 を行った。</p>	<p>品質関係の測定方法 又は測定値が不適切 であったため，検査 員が修補指示を行っ た。</p>

考查項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e																									
3 出来形及び出来ばえ	電気設備工事	品質管理が優れている	品質管理がbより優れている	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れている	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣っている	品質管理が劣っている																									
II 品質	評価結果 <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 30px; margin: 5px auto;"></div>	<p>● 評価対象項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 製作着手前に、品質や性能の確保に係る技術検討を実施していることが確認できる。 2 材料・部品の品質照合の結果が品質保証書等（現物照合を含む）で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 3 機器の品質、機能及び性能が設計図書を満足して、成績書にまとめられていることが確認できる。 4 操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性に優れていることが確認できる。 5 ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。 6 設備の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 7 操作制御関係の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作動が確認できる。 8 設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 9 現場条件によって機器（製品）の機能及び性能が確認できない場合において、工場試験などで確認していることが確認できる。 10 設備全体についての取扱説明書を工夫し作成（修繕（改造・更新含む）の場合は、修正又は更新）していることが確認できる。 11 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示していることが確認できる。 12 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫していることが確認できる。 13 その他 <div style="margin-left: 20px;"> <p>理由：</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; width: 100%; height: 20px;"></div> </div>					<p>評価 該当</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">[]</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">[]</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">[]</td> <td style="text-align: center;">[]</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">[]</td> <td style="text-align: center;">[]</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">[]</td> <td style="text-align: center;">[]</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">[]</td> <td style="text-align: center;">[]</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">[]</td> <td style="text-align: center;">[]</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">[]</td> <td style="text-align: center;">[]</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">[]</td> <td style="text-align: center;">[]</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">[]</td> <td style="text-align: center;">[]</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">[]</td> <td style="text-align: center;">[]</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">[]</td> <td style="text-align: center;">[]</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">[]</td> <td style="text-align: center;">[]</td> </tr> </table>	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	<p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。</p>	<p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>
[]	[]																																
[]	[]																																
[]	[]																																
[]	[]																																
[]	[]																																
[]	[]																																
[]	[]																																
[]	[]																																
[]	[]																																
[]	[]																																
[]	[]																																
[]	[]																																
		<p>● 判断基準</p> <p>評価値が90%以上・・・・・・・・ a</p> <p>評価値が80%以上90%未満・・・・ ab</p> <p>評価値が70%以上80%未満・・・・ b</p> <p>評価値が60%以上70%未満・・・・ bc</p> <p>評価値が60%未満・・・・・・・・ c</p>		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象とする項目のみ選択する。</p> <p>② 評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100</p> <p>④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>																													

評定様式7

考 査 項 目 別 運 用 表

(検 査 員)

考査項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e																															
3 出来形 及び出来ばえ	通信設備工事 受変電設備工事	品質管理が優れている	品質管理がbより優れている	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れている	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣っている	品質管理が劣っている																															
II 品質	評価結果 <input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/>	<p>● 評価対象項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 設計図書に定められている品質管理を実施していることが確認できる。 材料及び構成部品の品質及び形状について、設計図書等と適合が確認できる証明書等を整備していることが確認できる。 材料の品質照合の結果が、品質保証書等（現物照合を含む）で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 設備、機器の品質、機能及び性能が、成績等で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。 設備全体としての運転性能が所定の能力を満足していることが確認できる。 完成図書において、設備の機能並びに性能及び操作方法が容易に判別できる資料を整備していることが確認できる。 完成図書において、単体品の製造年月日及び製造者が判別できる資料を整備していることが確認できる。 設備全体及び各機器において、設計図書に規定した品質及び性能を工場試験記録により確認できる。 設備全体についての取扱説明書を工夫していることが確認できる。 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示していることが確認できる。 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫していることが確認できる。 その他 理由： 					<p>評価 該当</p> <table style="border-collapse: collapse;"> <tr><td style="border: none; padding: 2px;"><input type="checkbox"/></td><td style="border: none; padding: 2px;"><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td style="border: none; padding: 2px;"><input type="checkbox"/></td><td style="border: none; padding: 2px;"><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td style="border: none; padding: 2px;"><input type="checkbox"/></td><td style="border: none; padding: 2px;"><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td style="border: none; padding: 2px;"><input type="checkbox"/></td><td style="border: none; padding: 2px;"><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td style="border: none; padding: 2px;"><input type="checkbox"/></td><td style="border: none; padding: 2px;"><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td style="border: none; padding: 2px;"><input type="checkbox"/></td><td style="border: none; padding: 2px;"><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td style="border: none; padding: 2px;"><input type="checkbox"/></td><td style="border: none; padding: 2px;"><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td style="border: none; padding: 2px;"><input type="checkbox"/></td><td style="border: none; padding: 2px;"><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td style="border: none; padding: 2px;"><input type="checkbox"/></td><td style="border: none; padding: 2px;"><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td style="border: none; padding: 2px;"><input type="checkbox"/></td><td style="border: none; padding: 2px;"><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td style="border: none; padding: 2px;"><input type="checkbox"/></td><td style="border: none; padding: 2px;"><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td style="border: none; padding: 2px;"><input type="checkbox"/></td><td style="border: none; padding: 2px;"><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td style="border: none; padding: 2px;"><input type="checkbox"/></td><td style="border: none; padding: 2px;"><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td style="border: none; padding: 2px;"><input type="checkbox"/></td><td style="border: none; padding: 2px;"><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td style="border: none; padding: 2px;"><input type="checkbox"/></td><td style="border: none; padding: 2px;"><input type="checkbox"/></td></tr> </table>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。</p>	<p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																						
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																						
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																						
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																						
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																						
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																						
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																						
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																						
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																						
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																						
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																						
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																						
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																						
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																						
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																						
		<p>● 判断基準</p> <p>評価値が90%以上・・・・・・・・・・ a</p> <p>評価値が80%以上90%未満・・・・・・・・ ab</p> <p>評価値が70%以上80%未満・・・・・・・・ b</p> <p>評価値が60%以上70%未満・・・・・・・・ bc</p> <p>評価値が60%未満・・・・・・・・・・・・ c</p>		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;"> ① 当該「評価対象項目」のうち、対象とする項目のみ選択する。 ② 評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ %）＝該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100 ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。 </td> </tr> </table>					① 当該「評価対象項目」のうち、対象とする項目のみ選択する。 ② 評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ %）＝該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100 ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																														
① 当該「評価対象項目」のうち、対象とする項目のみ選択する。 ② 評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ %）＝該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100 ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																																							

評定様式7

考 査 項 目 別 運 用 表

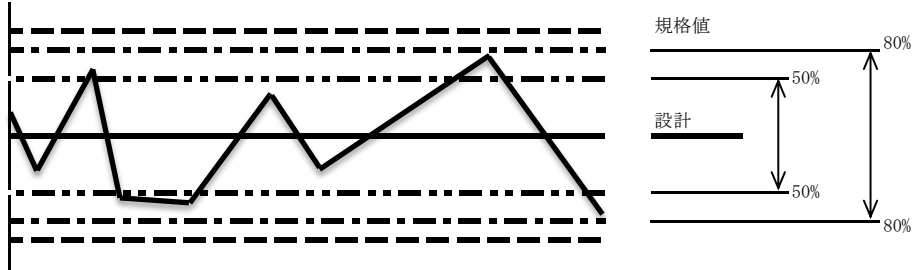
(検 査 員)

考査項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e																			
3 出来形 及び出来ばえ	コンクリート二 次製品工事	品質管理が優れている	品質管理がbより優れてい る	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れてい る	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣って いる	品質管理が劣っている																			
II 品質	評価結果 <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 30px; margin: 5px auto;"></div>	<p>● 評価対象項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 製品の損傷がない。又は、損傷部は補修していることが確認できる。 2 側溝本体及び蓋等の設置は路面（計画高さ等）と段差が生じないよう平坦でゆれ等がないことが確認できる。 3 側溝・BOX等の継ぎ目部分の施工は設計図書に基づき施工され水密性を保ち段差等がないことが確認できる。 4 既存施設等へのスリ付けが良いことが確認できる。 5 管の下面及びカラーの周辺は空隙・隙間等が生じないよう施工していることが確認できる。 6 設計図書に基づき二次製品は規格値を満足していることが確認できる。 7 緊張及びグラウト管理が適切に実施され記録により確認できる。 8 その他〔理由： 					<p>評価 該当</p> <table style="border-collapse: collapse; margin-left: 20px;"> <tr><td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td><td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black;"></td><td style="border: 1px solid black;"></td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black;"></td><td style="border: 1px solid black;"></td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black;"></td><td style="border: 1px solid black;"></td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black;"></td><td style="border: 1px solid black;"></td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black;"></td><td style="border: 1px solid black;"></td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black;"></td><td style="border: 1px solid black;"></td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black;"></td><td style="border: 1px solid black;"></td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black;"></td><td style="border: 1px solid black;"></td></tr> </table>																			<p>品質関係の測定方法 又は測定値が不適切 であったため、監督 員が文書で改善指示 を行った。</p>	<p>品質関係の測定方法 又は測定値が不適切 であったため、検査 員が修補指示を行っ た。</p>
		<p>● 判断基準</p> <p>評価値が90%以上・・・・・・・・ a</p> <p>評価値が80%以上90%未満・・・・ ab</p> <p>評価値が70%以上80%未満・・・・ b</p> <p>評価値が60%以上70%未満・・・・ bc</p> <p>評価値が60%未満・・・・・・・・ c</p>	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象とする項目のみ選択する。</p> <p>② 評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値（ %）＝該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100</p> <p>④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>																								

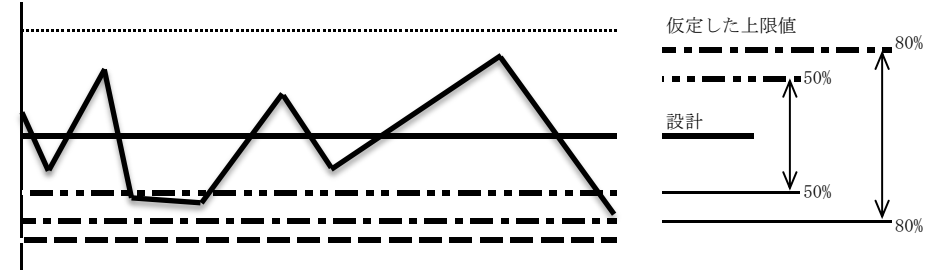
考査項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e																													
3 出来形及び出来ばえ	上記以外の工事又は合併工事	品質管理が優れている	品質管理がbより優れている	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れている	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣っている	品質管理が劣っている																													
II 品質	評価結果 <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 30px; margin: 5px;"></div>	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 「関連基準、施工管理基準、その他設計図書に定められた試験」 ※品質管理項目を設定していない工事については、「ばらつきで判断不可能」を選択する。 ※ばらつきの判断は別紙－4参照。				ばらつき50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能 <input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																													
		● 評価対象項目 1 その他〔理由：〕 2 その他〔理由：〕 3 その他〔理由：〕 4 その他〔理由：〕 5 その他〔理由：〕 6 その他〔理由：〕 7 その他〔理由：〕 8 その他〔理由：〕				評価 該当 〕 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 〕 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 〕 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 〕 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 〕 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 〕 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 〕 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 〕 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 〕 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin: 5px;"></div>																													
		● 判断基準				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ① 当該「評価対象項目」のうち、対象とする項目のみ選択する。 ② 評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ %）＝該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100 ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。 </div>																															
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>bc</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>					ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	ab	b	b	75%以上90%未満	ab	b	bc	bc	60%以上75%未満	b	bc	c	c	60%未満	bc	c	c	c	注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。			
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	ab	b	b																																	
75%以上90%未満	ab	b	bc	bc																																	
60%以上75%未満	b	bc	c	c																																	
60%未満	bc	c	c	c																																	

※ 管理図の場合

上限値・下限値が設定されている場合

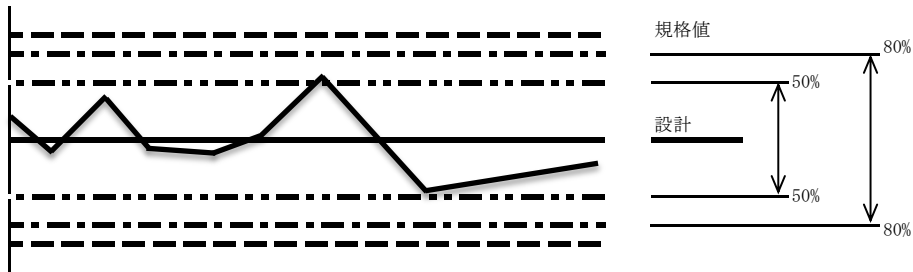


下限値のみ設定されている場合



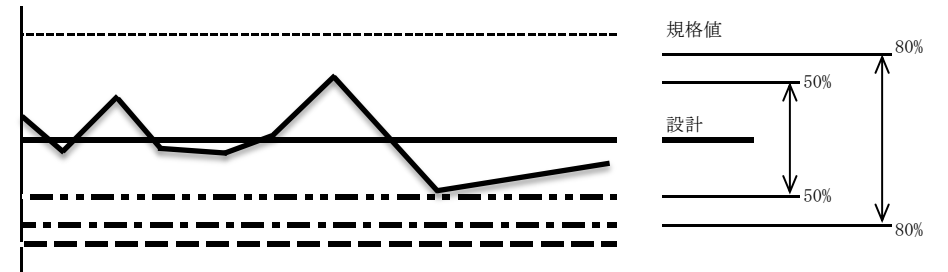
ばらつきが50%以内と判断される場合

※ 値の内、8割以上が50%以内であり、残りの2割未満においても80%以内の時



ばらつきが50%以内と判断される場合

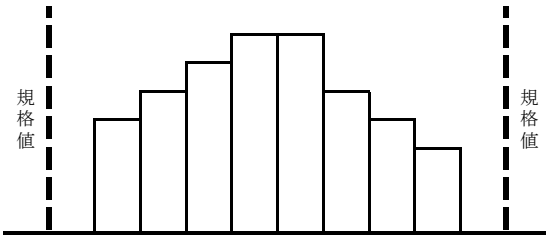
※ 値の内、8割以上が50%以内であり、残りの2割未満においても80%以内の時



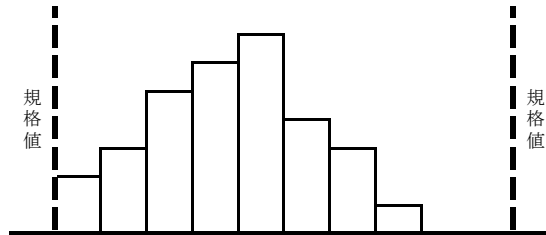
※ ばらつきが80%以上と判断されるとは、値の2割以上が80%を超えている場合（8割未満の値があっても、2割以上が80%を超えている場合）

※ 度数度またはヒストグラムの場合

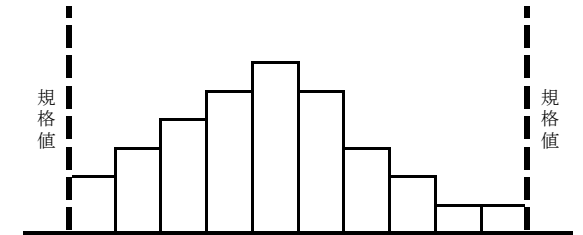
ばらつきが少ない



ばらついている



ばらつきが大きい



考 査 項 目 別 運 用 表

考查項目	工 種	a	b	c	d
		出来ばえが優れている	出来ばえがやや優れている	他の評価に該当しない	出来ばえが劣っている
3 出来形及び出来ばえ III 出来ばえ 評価結果 <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; display: inline-block;"></div>	<input type="checkbox"/> コンクリート 構造物工事	●評価対象項目 1 コンクリート構造物の表面状態が良い。 2 コンクリート構造物の通りが良い。 3 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 4 クラックが無い。 5 漏水がない。 6 全体的な美観が良い。		該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	●判断基準 該当 5 項目以上・・・a 該当 4 項目・・・・・・b 該当 3 項目・・・・・・c 該当 2 項目以下・・・d
	<input type="checkbox"/> 土工事（盛土等）	●評価対象項目 1 仕上げが良い。 2 通りが良い。 3 天端及び端部の仕上げが良い。 4 構造物へのすりつけなどが良い。 5 全体的な美観が良い。		該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	●判断基準 該当 4 項目以上・・・a 該当 3 項目・・・・・・b 該当 2 項目・・・・・・c 該当 1 項目以下・・・d
	<input type="checkbox"/> 切土工事	●評価対象項目 1 規定された勾配が確保されている。 2 切土法面の施工にあたって、法面の浮き石が除去されているなど、適切に施工されている。 3 法面勾配の変化部について、干渉部を設けるなど適切に施工されている。 4 滞水などによる施工面の損傷が発生しないよう処理が行われている。 5 関係構造物との取り合いが設計図書を満足するよう施工されている。 6 全体的な美観が良い。		該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	●判断基準 該当 5 項目以上・・・a 該当 4 項目・・・・・・b 該当 3 項目・・・・・・c 該当 2 項目以下・・・d
	<input type="checkbox"/> 舗装工事	●評価対象項目 1 舗装の平坦性が良い。 2 構造物の通りが良い。 3 端部処理が良い。 4 構造物へのすりつけ等が良い。 5 雨水処理が良い。 6 全体的な美観が良い。		該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	●判断基準 該当 5 項目以上・・・a 該当 4 項目・・・・・・b 該当 3 項目・・・・・・c 該当 2 項目以下・・・d
	<input type="checkbox"/> 法面工事、固定工（モルタル・ロープネット）	●評価対象項目 1 通りが良い。 2 植生、吹付等の状態が均一である。 3 端部処理が良い。 4 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 5 全体的な美観が良い。		該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	●判断基準 該当 4 項目以上・・・a 該当 3 項目・・・・・・b 該当 2 項目・・・・・・c 該当 1 項目以下・・・d
	<input type="checkbox"/> 基礎工事（地盤改良等を含む） <input type="checkbox"/> 地盤改良	●評価対象項目 1 土工関係の仕上げが良い。 2 通りが良い。 3 天端及び端部の仕上げが良い。 4 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 ※地盤改良はc評価とする。		該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	●判断基準 該当 3 項目以上・・・a 該当 2 項目・・・・・・b 該当 1 項目・・・・・・c 該当項目なし・・・d
	<input type="checkbox"/> 塗装工事（工場塗装を除く）	●評価対象項目 1 塗装の均一性が良い。 2 細部まできめ細やかな施工がされている。 3 補修箇所が無い。 4 ケレンの施工状況が良好である。 5 全体的な美観が良い。		該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	●判断基準 該当 4 項目以上・・・a 該当 3 項目・・・・・・b 該当 2 項目・・・・・・c 該当 1 項目以下・・・d
	<input type="checkbox"/> 植栽工事	●評価対象項目 1 樹木の活着状況が良い。 2 支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。 3 支柱の取り付けが堅固である。 4 全体的な美観が良い。		該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	●判断基準 該当 3 項目以上・・・a 該当 2 項目・・・・・・b 該当 1 項目・・・・・・c 該当項目なし・・・d
	<input type="checkbox"/> 防護柵（網）工事	●評価対象項目 1 通りが良い。 2 端部処理が良い。 3 部材表門に傷及び錆が無い。 4 既設構造物とのすり付けが良い。 5 きめ細やかに施工されている。 6 全体的な美観が良い。		該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	●判断基準 該当 5 項目以上・・・a 該当 4 項目・・・・・・b 該当 3 項目・・・・・・c 該当 2 項目以下・・・d

考 査 項 目 別 運 用 表

考查項目	工 種	a	b	c	d
		出来ばえが優れている	出来ばえがやや優れている	他の評価に該当しない	出来ばえが劣っている
3 出来形及び出来ばえ III 出来ばえ 評価結果 <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px; display: inline-block;"></div>	<input type="checkbox"/> 上水道工事	●評価対象項目 1 弁栓類の据付け及び鉄蓋類のすり付けがよく、仕上がりが良い。 2 歩道及び車道の舗装（仮舗装含む）の勾配が適切で、有害な段差が無く、平坦性が良い。 3 施工管理記録などから、不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 4 管路の通り等の仕上がりが良好であり、維持管理への配慮がなされている。 5 全体的な美観が良い。	該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	●判断基準 該当 4 項目以上・・・a 該当 3 項目・・・b 該当 2 項目・・・c 該当 1 項目以下・・・d	
	<input type="checkbox"/> 建築工事	●評価対象項目 1 建築物の通り、形状が良い。 2 仕上げの均一性、平坦性が良い。 3 機能面での配慮が適切である。 4 防水の納まりが良好である。 5 建具の取り付け、作動が良い。 6 関連工事との取り合いが良い。 7 全体的な美観が良い。	該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	●判断基準 該当 6 項目以上・・・a 該当 5 項目・・・b 該当 4 項目・・・c 該当 3 項目以下・・・d	
	<input type="checkbox"/> 維持修繕工事	●評価対象項目 1 小構造物等にも注意が払われている。 2 きめ細やかな施工がなされている。 3 既設構造物とのすり付けが良い。 4 全体的な美観が良い。	該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	●判断基準 該当 3 項目以上・・・a 該当 2 項目・・・b 該当 1 項目・・・c 該当項目なし・・・d	
	<input type="checkbox"/> 機械設備工事	●評価対象項目 1 主設備、関連設備及び操作制御設備が全体的に統制されており、運転操作性が良い。 2 きめ細やかな施工がなされている。 3 土木構造物、既設設備等とのすり付けが良い。 4 溶接、塗装、組立て等にあたって、細部にわたる配慮がなされている。 5 全体的な美観が良い。	該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	●判断基準 該当 4 項目以上・・・a 該当 3 項目・・・b 該当 2 項目・・・c 該当 1 項目以下・・・d	
	<input type="checkbox"/> 電気設備工事	●評価対象項目 1 きめ細やかな施工がなされている。 2 公共物として、安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。 3 動作状態において、電氣的及び機械的な異常が無く、総合的な機能及び運用性が良い。 4 ケーブル等の接続方法及び収納状況が適切である。 5 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 6 全体的な美観が良い。	該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	●判断基準 該当 5 項目以上・・・a 該当 4 項目・・・b 該当 3 項目・・・c 該当 2 項目以下・・・d	
	<input type="checkbox"/> 通信設備工事、受変電設備	●評価対象項目 1 主設備、関連設備等にきめ細やかな施工がなされている。 2 公共物として、安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。 3 動作状態において、電氣的及び機械的な異常が無く、総合的な機能や運用性が良い。 4 当該設備及び関連設備が全体的に協調及び統制され、総合的な性能向上への配慮がなされている。 5 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 6 全体的な美観が良い。	該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	●判断基準 該当 5 項目以上・・・a 該当 4 項目・・・b 該当 3 項目・・・c 該当 2 項目以下・・・d	
	<input type="checkbox"/> 上記以外の工事または合併工事	●評価対象項目 1 項目理由 2 項目理由 3 項目理由 4 項目理由 5 項目理由 ※ 該当工種からの評価対象項目で評価を行う。ただし、評価対象項目は最大5項目とする。	該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	●判断基準 該当 4 項目以上・・・a 該当 3 項目・・・b 該当 2 項目・・・c 該当 1 項目以下・・・d	